

東海労結成21年を振り返って・・・

東海労結成 1991年8月11日

国鉄改革

国鉄時代、国の政策により莫大な負債を抱えて、そのために私たちの労働組合は大きな転換点を迎えました。それが、国鉄改革です。

国鉄改革は、「仕事と生活を守る」ために、3本柱（出向・派遣・広域異動）を担う闘いです。その結果、国鉄からJRとして再生させ今日に至っています。当時は、労働組合として180度転換の闘いでした。それに対して反対意見や他労組からの反対の攻撃がありました。しかし、「仕事と生活を守る」「一人も路頭に迷わせない」ために闘ったのが国鉄改革です。

国鉄からJRへ

「新たに東海労を結成」

国鉄からJRに再生させた私たちは、JR東海労組（現JR東海ユニオン）を結成しました。その時の初代委員長は佐藤政雄委員長です。（現東海労）

私たちは、「仕事と生活を守る」「二度と路頭に迷わない」ために、安全問題・経営問題に対して、会社と対等の立場でしっかり物を申す対応をしてきました。しかし、それを良しとしない会社は、佐藤政雄委員長を排除しよう蠢き、JR総連からの脱退を画策したのです。

私たちは、御用組合的な労働組合ではなく、労働組合として会社にしっかり物を言う立場を貫くために、新たに東海労を結成し、JR東海労組（現JRユニオン）を脱退しました。

現場の社員が苦しんでいます

職場は息苦しくないですか？年休も自分の欲しいところに、何故入らないのでしょうか？最高の純利益を上げても、給料やボーナスが何故上がらないのでしょうか？会社の施策にいくら協力しても、私たちの生活が良くなったと実感できますか？業務内容は厳しさが増すばかりで、職場環境は益々悪くなっている。多くの社員が叫んでいますよ！

90%を超える最大の組合があるにもかかわらず、この叫び声が聞こえているのでしょうか？会社にしっかりと物を言っているのでしょうか？この会社に入って良かったと思える職場環境をつくりだすために力を合わせましょう！